令和７年度

保谷第二小学校　第１学年

西東京ふるさと探究学習

単元名：「きせつとなかよし　あき」～おもちゃをつくろう～

ねらい：・秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付け、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができる。季節を取り入れて遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。

・幼保連携を通して地域との交流を深める。

〔１０月〕

☆地域の方をゲストティーチャーに招き、どんぐりの種類によって形が異なること、学校の周りにある木について詳しく知りました。

〔１２月〕

☆木の実や葉っぱなど、季節の物を使ったおもちゃ作りをしました。学年でお店屋さん遊びを楽しみました。他のクラスの友達とも仲良く学習しました。

〔２月〕

☆地域の幼稚園保育園との交流会を行いました。学年でお店屋さん遊びをしたことを生かして、小さい子でも楽しめる遊びを考えました。

☆地域の保育園との交流会を行いました。難しそうにしていたら、ルールを優しくするなど、その場で工夫した対応が見られました。

まとめ

幼稚園や保育園での散歩で行ったり、友達や家族と行ったりしたことのあるMUFGパーク。その公園に、まだ知らないことがあることに気付いたり、そこで見付けたものを使って自分たちでおもちゃ作りをしたりすることを通して、改めて地域の良さに気付いていました。幼稚園、保育園児との交流では、年下の子たちが楽しんでもらうことを考え、取り組んでいました。交流を通して、自分の成長を振り返り、２年生になることへの期待をもつこともできました。